

特別講義

# 明治大学 国際交流基金事業

## 「漢字が語る中日文化交流」

2024年1月23日 火 4限

明治大学駿河台キャンパス

リバティタワー8階1083教室 15:20-17:00 (4限)

### 講演詳細 (使用言語は日本語です)

中国で生まれた漢字は古代から日本の文字や文学に影響を与えている。いわゆる「漢字文化圏」において、日本は独特な存在である。それは中国を除いて唯一今も漢字を使っている国となったところからも窺える。また、日本で作られた漢語は中国に「和製漢語外来語」として輸入され現代中国語に定着したことも無視できない。漢字を軸に古代から今に至るまでの中日文化の繋がりを解読してみると、いろいろ面白いことが見えてくる。

### 講師紹介 呉松梅 (中国山東大学外国語学院准教授)

専門は『源氏物語』など日本の古典文学・中日比較文学・日本語教育。漢字文化圏、漢字遊び、中国と日本の若者言葉や流行語、中日通訳や翻訳の方法にも関心を持っている。

#### 近年の論文や訳書:

- ・『源氏物語』若菜上巻における明石入道の夢について  
—漢籍に見られる夢解きの方法の視点から— (『東アジア研究』第18号、2020年3月)
- ・『神話の心理学』(河合隼雄著、岩波書店2016年出版)  
中国語訳:《神话的心理学》(生活·读书·新知三联书店2022年6月)
- ・『いじめ自殺——12人の親の証言』(鎌田慧著、岩波書店2007年出版)  
中国語訳:《欺凌自杀》(上海译文出版社2023年6月)

お問い合わせ

文学部・牧野淳司  
a\_makino@meiji.ac.jp

申込不要  
入場無料